

小中一貫教育が始まります！

■問い合わせ先 学校教育課 ☎(32)8918

市では平成20年度から小中連携教育を進めてきました。今後さらに連携を強化した教育活動を進められるよう平成31年度から9年間の教育活動を見通して行う小中一貫教育を始めます。



○何が変わるの？

中学校区ごとに「目指す子どもの姿」を設定し、小学校と中学校の先生が授業の進め方など一緒に考えます。

小学生と中学生が授業や活動を通じてさらに交流します。

○変わらないことは？

各学年の学習内容は、これまでと変わりません。小学校と中学校の施設はそのまま使用します。

※南河内中学校区は、施設一体型の義務教育学校になります。(2022年度開校予定)

各中学校区の目標と実践研究テーマ

2019～2020年度は、中学校区ごとに重点的に取り組む「実践研究課題」を決め、特色ある小中一貫教育を推進します。

南河内中学校区

(薬師寺小・吉田東小・吉田西小・南河内中)

2022年度の義務教育学校開校に向けて、全校が同じ教育目標を掲げ、コミュニケーション能力の育成を目指した教育活動を進めています。家庭や地域の方とともにある学校づくりを目指します。

<実践研究> コミュニケーション能力の育成
(英語教育を中心として)

南河内第二中学校区

(祇園小・緑小・南河内第二中)

分離型で小中一貫教育を進めています。3校が近距離にある環境を有効に活用し、児童生徒間や教職員間の交流を活発に行っています。理数教育を中心とした学力の向上を目指します。

<実践研究> 理数教育

石橋中学校区

(石橋小・古山小・細谷小・石橋北小・石橋中)

分離型で小中一貫教育を進めています。学校規模の違いや特徴を生かした児童生徒の交流や教職員の授業交流を計画的に行っています。全教育活動を通じた心の教育の充実を図ります。

<実践研究> 心の教育

国分寺中学校区

(国分寺小・国分寺東小・国分寺中)

隣接型及び分離型で小中一貫教育を進めています。子どもへの支援をつなぐ教職員の合同研修や子ども同士の交流活動を充実させ、中1ギャップの解消に努めます。

<実践研究> 学び合いを支えるコミュニケーション能力の育成